

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-1-3		事業名	さっぽろ市民カレッジによる人材育成の推進																			
担当	教育委員会生涯学習部生涯学習推進課 寺崎 憲子 211-3871																						
全 体 計 画																							
事業内容	<p>・さっぽろ市民カレッジにおいて、大学等の高等教育機関やNPOなどとも連携し、地域でも活動やボランティア活動などを進めるために必要な知識・技術などの学習の機会を提供し、活動のリーダー・人材の育成を推進する。</p> <p>・第2次生涯学習推進構想に基づき、市民の主体的な学びによって得られら成果を、さまざまな実践に活かす仕組みづくりに取り組んでいく。</p>																						
	<p><b>&lt;年度別の事業内容&gt;</b></p> <p>年3期(春・夏、秋、冬期)、15歳以上の市民(高校生を除く)及び市内勤務者を対象に、ボランティア、市民活動、まちづくり等を促進する「市民活動系」と、職業能力の向上や産業育成・活性化を促進する「産業・ビジネス系」を柱に、「文化・教養系」を加えた体系的な学習プログラムを提供する。</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">           市民活動系            産業・ビジネス系            文化・教養系         </td> <td style="vertical-align: top;">           &lt;19年度&gt;            21講座            10講座            95講座         </td> <td style="vertical-align: top;">           &lt;20年度&gt;            22講座            10講座            95講座         </td> <td style="vertical-align: top;">           &lt;21年度&gt;            23講座            10講座            95講座         </td> <td style="vertical-align: top;">           &lt;22年度&gt;            23講座            10講座            95講座         </td> </tr> </table>				市民活動系 産業・ビジネス系 文化・教養系	<19年度> 21講座 10講座 95講座	<20年度> 22講座 10講座 95講座	<21年度> 23講座 10講座 95講座	<22年度> 23講座 10講座 95講座														
市民活動系 産業・ビジネス系 文化・教養系	<19年度> 21講座 10講座 95講座	<20年度> 22講座 10講座 95講座	<21年度> 23講座 10講座 95講座	<22年度> 23講座 10講座 95講座																			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(予算)																				
	<p>市民の高度な学習ニーズに応えるため、大学等の高等教育機関との連携を深め、継続的・段階的な学習機能を持つ「さっぽろ市民カレッジ」を札幌市生涯学習センターのオープンに合わせて開設(平成12年8月)した。講座分野は、「市民活動系」、「産業・ビジネス系」、「文化・教養系」の3分野からなり、分野ごとにコースが設定されている。</p> <p>また、講座の提供のほかに、講座修了者に対する単位及び称号の認定の制度、受講履歴を自分で記入できる「学習手帳」があり、総合的に学習者を支援する仕組みを整備している。</p> <p>なお、平成18年度から生涯学習センターに指定管理者制度が導入され、指定管理業務となっている。</p>		<p>市民参加の一層の促進、学習成果の活用を図るため、資格や肩書きにとらわれずに、学んだことを活かしたいと考えている市民が講師を務める講座などを新たに導入するとともに、今後、地域への展開を視野に入れながら該当学習コースを増やすなど、市民ニーズに合わせた弾力的な導入・運営を行っていく。</p> <p>また、センターの各種新規事業との連携を図り、講座の実施を通して「市民による学びあい」と「生涯学習によるまちづくり」を総合的かつ実際的に展開していく。</p>																				
	<p>&lt;平成19年度講座数及び受講者数&gt;</p> <table border="0"> <tr> <td>市民活動系</td> <td>19講座</td> <td>287人</td> </tr> <tr> <td>産業・ビジネス系</td> <td>11講座</td> <td>153人</td> </tr> <tr> <td>文化・教養系</td> <td>185講座</td> <td>4,395人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>215講座</td> <td>4,835人</td> </tr> </table>		市民活動系	19講座	287人	産業・ビジネス系	11講座	153人	文化・教養系	185講座	4,395人	計	215講座	4,835人	<p>&lt;平成20年度年間講座実施予定数&gt;</p> <table border="0"> <tr> <td>市民活動系</td> <td>23講座</td> </tr> <tr> <td>産業・ビジネス系</td> <td>12講座</td> </tr> <tr> <td>文化・教養系</td> <td>183講座</td> </tr> </table>			市民活動系	23講座	産業・ビジネス系	12講座	文化・教養系	183講座
	市民活動系	19講座	287人																				
	産業・ビジネス系	11講座	153人																				
	文化・教養系	185講座	4,395人																				
計	215講座	4,835人																					
市民活動系	23講座																						
産業・ビジネス系	12講座																						
文化・教養系	183講座																						
<b>達成目標の状況</b>																							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)																		
講座受講者数	3,520人	4,835人	4,900人	4,900人	4,900人																		
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>																							
<p><b>市民との連携、市民参加</b></p> <p>市民の学習環境を整備し、市民の主体的な学習を推進することにより、地域での活動やボランティア活動を担う人材育成につなげていく。また、さっぽろ市民カレッジ受講修了者を対象に、センター職員の支援のもと、講座の講師を務めるなど学んだ成果を活かしていく。さらに、アンケートの実施などにより、受講者の意見を講座の企画・実施に反映するよう努めている。</p>																							
<p><b>企業等との連携・協働</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[資金協力]</li> <li>[人材協力]</li> <li>[情報協力]</li> <li>[その他の協力]</li> </ul>																							
<p><b>市民・企業等が参加しやすい環境づくり</b></p> <p>自治基本条例を踏まえ、まちづくりについて、市民が自ら学び、考えることができるよう、引き継ぎ、このさっぽろ市民カレッジにおける学習機会を充実していく必要がある。また、第2次生涯学習推進構想に示されている、コミュニティの活性化や特色ある地域づくりのための人材育成に、学びの成果を活かす仕組みづくりについても、事業を通じて進めていく必要がある。</p>																							

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	2-1-3		事業名	さっぽろ市民カレッジによる人材育成の推進		
評価(成果)			課題			
<p>さっぽろ市民カレッジにおいて、地域での活動やボランティア活動などを進めるために必要な知識・技術などの学習の機会を提供し、活動のリーダー・人材の育成を推進することにより、地域社会の活性化が図られる。</p> <p>また、学んだ成果を活かすしくみづくりを進めることにより、市民の主体的な社会参画の意識が醸成され、市民主体の活力あるまちづくりが促進される。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりについて市民が自ら学び、考えることができる環境の整備を行い、学習成果の活用として、市民自ら企画した講座を実施する。</li> <li>・市民の主体的な学びで得られた成果をまちづくり活動に活かすことができる仕組みづくりを構築し、地域などの活動を求める側のニーズと活動を希望する人の意欲が効果的に結びつくよう、必要な情報を提供する。</li> </ul>			
今後の事業の予定・方向						
<p>第2次札幌市生涯学習推進構想に示された基本的な考え方と方向性を踏まえ、21年度までに、地域や都心部での展開なども含めた見直しを終え、22年度以降は、この見直し後の枠組みにより、事業を実施していく。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	-	-	-	-	-
	財源	国・道支出金				
		市債				
		その他の				
		一般財源				
予算	事業費	19,976	16,064	-	-	36,040
	財源	国・道支出金	0	0		0
		市債	0	0		0
		その他	0	0		0
		一般財源	19,976	16,064		
実績	事業費	16,409	-	-	-	16,409
	財源	国・道支出金	0			0
		市債	0			0
		その他	0			0
		一般財源	16,409			
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体) 平成18年度より、生涯学習センターの管理運営業務となった。 [19年度]						
[20年度]						